



決断の仕方・覚悟の作り方！！

経営管理上の問題点や課題が明確になっても何もしない、何も動かないでアクションを先延ばしにしてしまう経営者や経営幹部の方が時々いらっしゃることにびっくりしてしまう。基本的に決断が出来ないのである。覚悟を決める胆力が欠乏しているとも言える。

「決断を下す」ということや「覚悟をしっかりと作る」には、一時的な興奮や感情では駄目である。植物に水や養分を与えていくように、日々、精神力や胆力を鍛えていかなければいけない。

明治維新以降、日本がその技術力の高さを培ってこられたのは、決断の仕方、覚悟のあり方を仕事のあり方の中に持ち込んできたためである。

日本の技術力というのは、その時の興奮、感激だけで満足するような表面的なものではない。目標を決めたならその実現に向けて、継続した改善と研究をやり続けていくのである。それも一部の学者や研究者にたよるのではなく、一人一人の仕事仲間の日々の改善努力の中から育んでいくのである。

このような日本的な仕事観は、仕事を単なるお金儲けの手段として考えるのではなく、働く喜びとして地道にじわじわと取り組んできたことから醸成されてきたものである。そして、そのような仕事観があるからこそ、いつも世界でより優れた製品やサービスを生み出してくることが出来たのである。

経営者や経営幹部といった企業組織を引っ張っていくリーダーは、決断を下すということや覚悟をしっかりと作っていくための「鍛錬」を不断に続けていかなければならないと思う。

